

【速報】ミャンマーの最新情勢（10月13日） ～ヤンゴンから～

2021年10月13日

ミャンマービジネスサポートデスク 西垣 充

コロナの新規感染者は一定数いるものの、8月中旬以降落ち着きをみせはじめ、一時期の感染拡大期はピークアウトしているようです。一時帰国している日本人駐在員らのヤンゴン渡航希望者が増え、10月の救援便は2便増便され4便が運航される予定です。9月7日に国民統一政府(NUG)が国軍への攻撃を行うことを示唆する緊急事態宣言を発表しましたが、現時点でヤンゴン市内の治安状況に大きな変化は見られていないものの、継続的に爆発事件などは見られています。

①テレビ

国軍系放送、国営放送、民間放送については、2月2日の状況通り。民間の大手衛星放送「SKYnet」では、多くの海外放送のニュースチャンネルが視聴できなくなっていますが、「NHKプレミアム」と「CCTV4」は視聴できます。海外放送では、スポーツや音楽、映画チャンネルのうち、FOX系、HBO系が視聴できなくなっています。

②インターネット

光回線やWIFI(ワイヤレス・ブロードバンドサービス)、携帯電話データ通信などは復旧しており、深夜の遮断もなくなっています。ただ、フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなどのSNSは閲覧できなくなっています。携帯電話データ通信では、政府が許可するアプリ(ZOOM、LINEやSkype等約1200)のみアクセスが可能になっています。

③電話

いずれの携帯電話会社も通話及びSMSは問題なく使用できています。

④日常生活での支障

大型ショッピングセンターでは生活必需品取扱店だけでなく、電化製品店やアパレル等の一般店舗も営業が再開しています。大手流通小売り「City Mart」、タイ系小売り・卸「Makro」や大型ホームセンター「PRO1」なども営業中。ただし、いずれも夜間外出禁止令の関係で営業時間を変更し営業しています。宅配デリバリーサービスは、多くの店舗で利用可能となっています。「GrabFood」と「GrabMart」は午前8時から午後7時まで営業しています。ヤンゴン市内の多くのレストランやコンビニエンスストア等は、時短営業で営業を再開しています。

中央銀行は市中銀行すべてに対し、ATMでの一回の引き出し額を50万チャット(約33,262円)まで、口座からの引き出し額を、一週間で個人は200万チャット(約133,050円)まで、企業は2000万チャット(約1,330,500円)までと制限する通達を継続しています。ただ、一回の引き出し可能金額は、金融機関や各支店により異なっており、20万チャット(約13,305円)から30万チャット(約19,957円)ぐらいのところが多いようです。行員の感染などにより作動していないATMが多く、ATM前は以前よりも行列ができていますが、ATMの現金補充は追いついておらず、現金引き出しは困難な状況が続いています。市中銀行については、整理券を配布し窓口業務が再開しています。日本からの送金も問題ありませんが、米ドル現金引き出しは難しい状況が続いています。

2月8日にヤンゴン地域における公共の場での5人以上の集会禁止令が、5月4日に同地域における午後10時から午前4時までの夜間外出禁止令が発表されています。10月8日の日付

で、ヤンゴン管区内 31 の郡区に対し公共の場での 5 人以上の集会禁止令と午後 10 時から午前 4 時までの夜間外出禁止令が改めて発表されました。

⑤日系企業の対応

多くの企業が営業を再開していますが、業種により在宅対応と出社対応の両極に分かれているようです。全体の 56%が今年度の昇給を見送りにしていますが、昇給を実施した企業の全体平均昇給率は「7.5%」でした。(ミャンマー進出日系企業を対象に 150 社からの回答(2021 年 9 月 29 日～10 月 5 日 J-SAT 調べ)

⑥公共交通機関

<国際線・国内線>

国際線旅客機の着陸禁止措置は続いています。各国からの救援便、貨物便などは運航されています。ミャンマーから日本への商用便として、全日空直行便、クアラルンプール経由・週 4 便、仁川経由・週 1 便に限られており、出国の際は陰性証明書が必要となっています。シンガポール政府から、7 月 16 日以降次の発表があるまで、過去 21 日間にミャンマーに滞在歴がある渡航者のシンガポールへの入国及びシンガポールでの乗換えを禁止する旨発表がありました。現時点で変更はありません。

国内線は、コロナ感染拡大により一部運航停止している航空会社もありますが、便数は少ないものの運航されているようです。

<バス>

ヤンゴン市内バスは減便運航されてきていましたが、コロナ感染拡大が落ち着きを見せ始めた 8 月中旬以降徐々に運航数は増えてきています。

<タクシー>

一般タクシーは通常通りですが、燃料費の高騰により値段は上がっているようです。大手配車アプリ GRAB タクシーは、7 時～20 時まで営業しています。

⑦物流

国際宅配便 DHL、EMS ともフライト状況で発送・着送されるようです。国内物流は動いていますが、燃料費の高騰により、輸送費が上昇しています。タイ国境などへの物流も基本的には稼働しているようです。

港湾局の業務は通常通り行われています。海上輸送、輸出入に関しては船の便数、コンテナ数が大幅に減少しており、燃料費の高騰なども重なり、輸送費が以前の 3 倍近くになっているようです。

通関について、輸出、輸入とも問題なくできているようですが、乙仲業者によって業務スピードは変わるようです。

航空貨物は動いているようです。

⑧工場稼働状況

10 月 13 日のティラワ工業団地内工場は、7 割程度、ミンガラドン工業団地内工場は 9 割程度が稼働しているようです。また、ラインタヤ工業団地内の工場、シュエピータ工業団地内の工場も多くが稼働しているようです。いずれも、従業員の健康状態に合わせ、各社就業時間、出勤者に配慮しながら対応しています。

【大阪産業局ミャンマービジネスサポートデスク】

受託事業者: J-SAT Co., Ltd. 代表取締役 西垣 充

#1210, 12A Floor, Sakura Tower, No.339,

Bogyoke Aung San Road, Kyauktada T/S, Yangon, Myanmar

バックナンバー https://www.obda.or.jp/events/ibo_events_all/overseas-from-myanmar